

2024年8月8日

Qsol株式会社

大阪府・大阪市・兵庫県の令和6年度 空飛ぶクルマ社会実証補助事業に採択されました

- 「エアモビリティ統合運航管理プラットフォーム事業」を提案 -

Qsol株式会社（福岡市中央区 代表取締役社長：廣渡 健）は、大阪府・大阪市・兵庫県が連携して公募する空飛ぶクルマ社会実証補助事業^{注1}に、三井物産株式会社、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）、株式会社JR西日本イノベーションズ、朝日航洋株式会社、小川航空株式会社、Terra Drone株式会社、株式会社ウェザーニューズと共同で「エアモビリティ統合運航管理プラットフォーム^{※1}事業」を提案し、7月3日に事業採択されました。当社は、昨年度に続き2年連続での参加となります。

本事業では多種多様なエアモビリティ機体の位置情報及び運航データ、気象情報や空飛ぶクルマ離着陸場の利用情報等を、運航に関わる多様なステークホルダーに共有するエアモビリティ統合運航管理プラットフォームを構築し、安心・安全な「空飛ぶクルマ^{※2}」社会の実現を目指します。

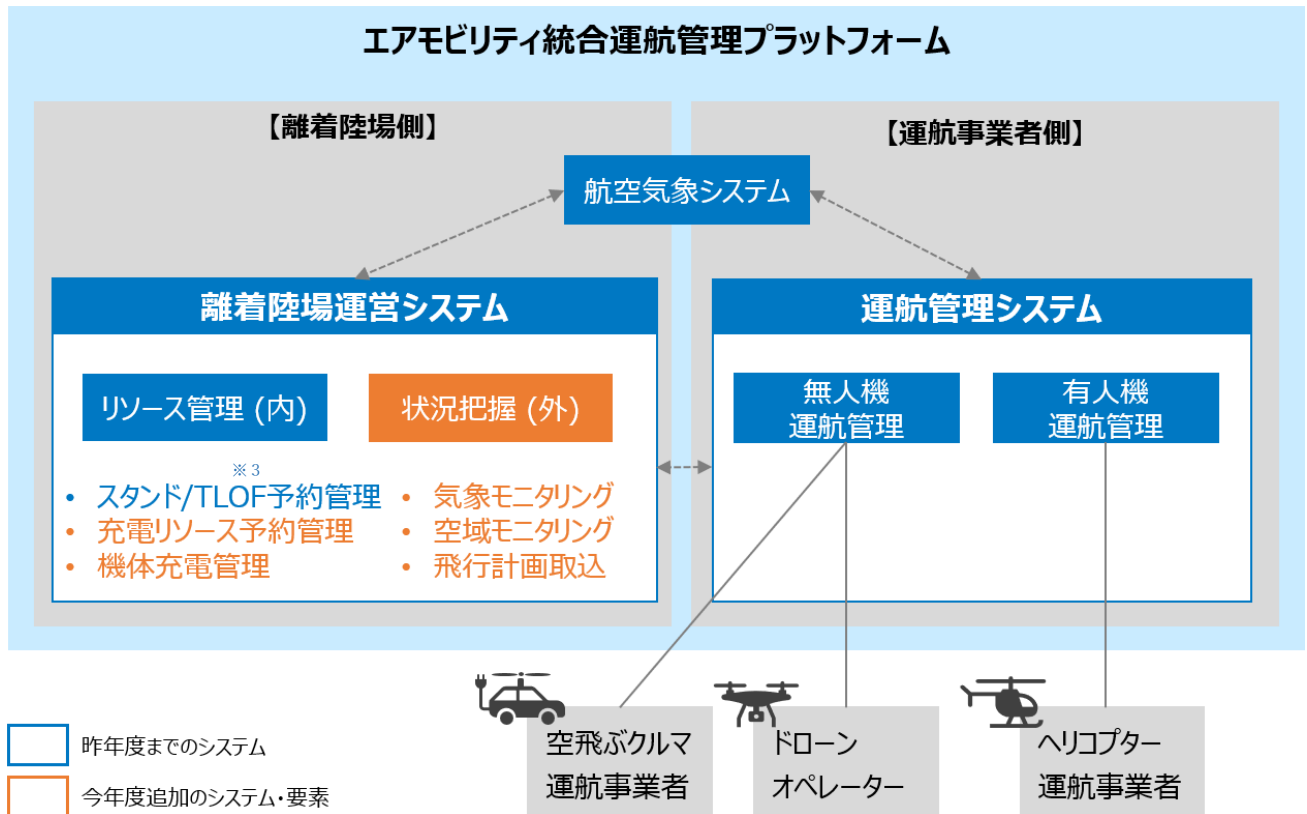
当社は、多くの航空運送事業者にご利用いただいている運航・整備管理システム「NAST^{注2}」を使用し、これまでに培ったノウハウをもとに、本事業を通じて「空の安全」に貢献します。

今年度は、昨年度の実績を踏まえて、更なる要素を追加した実験を実施予定です。

■ 実施概要（今年度の追加要素）

- 空飛ぶクルマの機体性能等の情報を、実証実験におけるヘリコプター運航ルートやシミュレーションデータに反映し、空飛ぶクルマの商用化及び社会実装後に想定される飛行ルート・高密度運航環境を前提条件とした実証実験を行います。
- 空飛ぶクルマ離着陸場運営システムに気象・空域情報等の周辺情報を反映し、空飛ぶクルマ離着陸場内のオペレーション管理機能を追加します。実証実験では、プラットフォームを使うことにより、エアモビリティの運航管理と空飛ぶクルマ離着陸場内のオペレーションが互いに協調できるかを実証します。

<システム全体像>



用語解説

※1 エアモビリティ統合運航管理プラットフォーム

空飛ぶクルマ・ヘリコプター・ドローンなどの多種多様な機体の運航計画や位置情報、気象情報、航空機情報、離着陸場情報等、エアモビリティの運航に必要な情報を様々なステークホルダーに広く共有するシステム。

※2 空飛ぶクルマ

電動垂直離着陸機(eVTOL)の一般名。電動モーターで複数の回転翼を回転させ、垂直離着陸できる小型航空機。

※3 TLOF (Touchdown and Lift-Off Area)

空飛ぶクルマ離着陸場の構成施設のうち、空飛ぶクルマが安全に離着陸を行うために設置された専用エリア。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

Qsol株式会社 プロダクト営業部 航空プロダクト営業グループ
TEL:092-515-1212 E-Mail : info@qsolcorp.co.jp



「快適で、そして環境にやさしい」
そんな毎日を子どもたちの未来につなげていきたい。
それが、私たち九電グループの思いです。

[別紙]

注1) 空飛ぶクルマ社会実証補助事業

大阪府・大阪市・兵庫県が連携して公募する以下の3つの補助事業に共同採択されたもの。

■大阪府「令和6年度 空飛ぶクルマ都市型ビジネス創造都市推進事業補助金」

HP:https://www.pref.osaka.lg.jp/o110020/energy/sorakuru_jigyouhi/jissyouhojo.html

■大阪市「令和6年度 空飛ぶクルマ社会実装促進事業補助金」

HP:<https://www.city.osaka.lg.jp/keizaisenryaku/page/0000622668.html#kohu>

■兵庫県「令和6年度 空飛ぶクルマ実装促進事業」

HP:<https://web.pref.hyogo.lg.jp/sr10/press/20240703.html>

注2) NAST(Network of Aviation Safety Technology)は Qsol 株式会社が提供する航空機の運航、整備に関する情報を一元管理する総合管理システム。

<https://www.qsolcorp.co.jp/solutions/nast/>